

## 経 営

### 新日鉄本社などにおける夏季節電対策について

新日鉄は今夏の電力需給逼迫に対して、製造部門（製鉄所）における生産設備の計画休止、工事休止のシフトや省電力に資する操業設計、電力供給（共同火力発電所、IPPなど）の両面からの対策を進めるとともに、本社などにおいてもオフィスでの電力使用抑制策を実施していますが、今後の空調稼働などによる電力消費増を見据え、勤務面からの取り組みも行って参ります。

#### 1. これまでの取り組み（オフィス施策）

- (1) オフィス照明の照度ダウン・減灯の実施
- (2) クールビスの実施期間拡大
- (3) エレベータ稼働のミニマム化

#### 2. さらなる取り組み（勤務施策）

「エコ年休」の実施  
7月下旬から8月にかけて、本社・支店・研究所において、指定年休を「エコ年休」として6日間配置し、「エコ年休」日はオフィスの空調・照明を停止します。あわせて、夏季の年休取得の奨励を強化します。

#### 3. 節電効果（本社オフィスの場合）

これまでの施策により、対前年同月で△20%程度の節電を実現しています。さらに「エコ年休」の実施により△5～10%、合計で△25～30%の節電を目指します。

総務部広報センター

▲03-6867-2135

2135・2146・2147

## 製 品

### 国際海事展「パリシップ2011」に出展

新日鉄は、5月19～21日、愛媛県今治市で開催された国際海事展「パリシップ2011」に出展した。同展では200社超の企業が最新の海事関連製品・技術・サービスをPR。新日鉄は造船用厚鋼板などを、製品サンプルや船体模型とともに紹介。ブースには造船関連企業や今治市民が1千人超来場し賑わった。また、併催された国際会議で、三村明夫新日鉄会長が特別講演を行った。



三村会長講演

総務部広報センター  
▲03-6867-2135

## 技 術

### 日本初の水素燃料電池スクーター実証試験を開始

5月17日、新日鉄とスズキ（株）は、日本初の「水素燃料電池スクーター」の実証走行試験を開始した。福岡県北九州市と新日鉄、JX日鉱日石エネルギー（株）、岩谷産業（株）が共同で立ち上げた「北九州水素ステーション」に、新日鉄八幡製鉄所の副生水素を供給。スズキが開発した燃料電池スクーターに、その水素を充填し、（株）日鉄エレクトクスが公道で走らせてデータを集める。開始式に出席した三村明夫新日鉄会長は「東日本大震災に伴う電力不足問題で、電力エネルギーの分散が必要になってきたのは明らかだ。製鉄所で発生する水素が、エネルギー政策の一環として役立つことになれば幸いだ」と述べた。

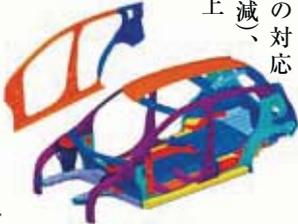


スズキ（株）鈴木修会長兼社長（左）と新日鉄 三村明夫会長

## 技 術

### 世界の鉄鋼メーカーが次世代鋼環境対応車の車体設計を完了

新日鉄をはじめとする世界の鉄鋼メーカー17社が参画しているワールドオートスチール（WAS）はこのほど、次世代鋼環境対応車（FSV）プログラムにおいて、2015年～2020年に想定される次世代車体の基本仕様を選定したフェーズ1に続き、フェーズ2で車体の詳細設計を完了させた。今後とも超軽量車体開発プロジェクトで、自動車環境への対応（CO<sub>2</sub>削減）、安全性向上に鉄鋼材料を通じた寄与していく。



総務部広報センター  
▲03-6867-2135

## 紀尾井ホール 新日鉄文化財団 公演ご案内

ペーター・レーゼ  
ベートーヴェンの真影⑦⑧  
ピアノ・ソナタ全曲演奏会

⑦10月1日(土) / 15:00

⑧12日(水) / 19:00

⑦1日) : ピアノ・ソナタ第24番、第25番、第11番、第7番、第13番

⑧12日) : ピアノ・ソナタ第2番、第31番、第1番、第32番



ペーター・レーゼ © Yutaka Suzuki

2008年からスタートした本シリーズもいよいよラスト2回。完結の時を迎えて「ペーター・レーゼの真影」の全貌が明らかになります。第7回では中期のソナタを取り上げ、整然と構築された中に潜むドラマ性をいかに引き出すかが聴きどころです。そして第8回では最初と最後のソナタを2曲ずつ。ペーター・レーゼがドイツ音楽の伝統から得てきたもの、そして次の世代へと譲渡したものを聴く、最後にふさわしいプログラムです。

### スケジュール

9月20日(火) / 19:00

紀尾井ニュー・アーティスト・シリーズ  
第23回 畚野 勢津子(マリンバ)

レヴィタン : マリンバ・シンガラ  
フォウラー : ミチユキ、一柳慧 : 源流  
ドビュッシー : 「子供の領分」より  
ステイーブンス : リズミック・カプリス ほか

9月21日(水) / 18:30

邦楽 華麗なる技  
第1回 義太夫節 : 物語の浄化  
「段切れ」の魅力

「絵本太功記」十段目、「菅原伝授手習鑑」桜丸切腹、  
「摂州合邦社」、「新版歌祭文」野崎村 ほか  
竹本千歳大夫(浄瑠璃)、豊澤富助、  
豊澤龍爾(三味線)、磯西真喜(聞き手)

お問い合わせ・チケットのお申し込み先  
紀尾井ホールチケットセンター (日・祝休)

TEL 03-3237-0061

http://www.kioi-hall.or.jp



### スポーツ

全日本  
実業柔道団体対抗大会  
で新日鉄が二連覇

5月28・29日、第61回全日本実業柔道団体対抗大会が愛媛県武道館で開催され、5人制12チームで争う男子第一部で新日鉄柔道部が2年連続、31度目の優勝を果たした。

当社は昨年の全日本選手権を制した高橋和彦選手をけがで欠きながら、準決勝で強豪の旭化成を破り勢いに乗った。決勝戦は昨年と同じく日本中央競馬会と対戦。1対1で迎えた代表戦で、吉永慎也主将が身長差20センチ以上ある立山広喜選手を果敢に攻め、優勢勝ちを収めた。



代表戦で立山選手と組む吉永主将

総務部広報センター  
▲03-6867-2135

### グループ

新日鉄エンジニアリング(株)  
グリーンエンジンを目指した  
北九州技術センターE館が竣工

5月25日、新日鉄エンジニアリング(株)が建設を進めていた同社「北九州技術センターE館」が竣工した。建物の省エネ性能と快適性や安全性、生産性、経済性などを含めた総合的にバランスの取れた高い性能を確実に継続して提供するため、同ビルを実験・実証フィールドとして活用する。今後、東京大学や北九州市立大学などと連携し、グリーンエンジニアリング力の開発・蓄積と情報発信に努めていく。



北九州技術センターE館

### グループ

新日鉄エンジニアリング(株)  
が国内初「建築構造用鍛鋼品」  
を商品化

新日鉄エンジニアリング(株)は、建築分野の空間構造用接合用鋼材(建築構造用鍛鋼品NSEF450)について、国土交通大臣認定を取得し商品化した。同商品は、同社が扶桑機工(株)、宮上工業(株)、フジ工業(株)と共同で新たに開発。建築分野で使用される丸鋼などを加熱・鍛造して製作される接合用鋼材で、任意形状に対する鍛鋼品の材料認定は、国内で初めて。



大スパン鉄骨事例(下関市川棚交流センター)

新日鉄エンジニアリング(株)  
総務部広報室  
▲03-6665-2366

### グループ

建材事業を強化  
東京エコン建鉄(株)と  
ジオスター(株)が合併

新日鉄の連結子会社である東京エコン建鉄(株)と持分法適用会社であるジオスター(株)は、2011年10月1日を合併予定日とする合併契約を締結した。これにより、新日鉄グループの

### グループ

黒崎播磨(株)が  
インド最大耐火物  
メーカーを子会社化

5月31日、黒崎播磨(株)はインド最大の耐火物製造・販売メーカー「タタ・リフラクトリーズ(TRL)社」を子会社化した。

黒崎播磨はインドにおいて、タタ・スチール向けを中心に積極的な拡販活動を展開している。今回の子会社化で、インド国内に製造拠点・営業体制を確保することとなり、コスト競争力とお客様へのソリューション力を高め、成長著しいインドマーケットおよびインド周辺地域への耐火物の拡販を狙う。将来的には日本向け



タタ・スチールとのTRL 株式売買契約サイン

黒崎播磨(株) 総務人事部  
▲093-6227-2224

の安価耐火物の供給基地、さらには耐火物原料の調達拠点としての活用も図る。

合併会社に対する議決権比率は40%以上となり、合併会社は建材事業の中核を担う連結子会社となる。今回の合併を機に、トンネル覆工部材(セグメント)事業のさらなる基盤強化を図るため合併会社と営業・技術・製造にわたる連携を強化していく。

総務部広報センター  
▲03-6867-2146